科目ナンバリング	U-LAS04 20028 LJ45						
授業科目名 <英訳>	社会学各論Ⅰ Advanced Sociology I			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 伊藤　理史		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	教育・心理・社会(各論)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	金2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

【講義の概要】
本授業は、社会学的な立場から「政治」について考えるための枠組みとしての、政治社会学について学修することを目的とする。具体的には、前半は権力、民主主義、階級・階層、福祉国家やナショナリズムとポピュリズムなどについての理論や概念について学び、後半は有権者の政治参加や政治文化、福祉国家や大阪の地方政治と世論の実態についてもデータを元に確認していく。最終的に，社会と政治の間の様々な関係（社会／政治問題）について，政治社会学的な立場から解釈・考察できるようになることを目指す。

[到達目標]

・政治社会学についての様々な概念や理論、実態に関する専門知識を習得できる。
・様々な政治／社会問題について、政治社会学的な立場から解釈・考察できる。

[授業計画と内容]

第01回：授業ガイダンス／政治社会学とは何か
第02回：権力
第03回：民主主義
第04回：階級・階層
第05回：福祉国家
第06回：ナショナリズムとポピュリズム
第07回：メディアと世論
第08回：政治参加
第09回：政治文化
第10回：福祉国家と世論1（福祉国家への支持と能力主義）
第11回：福祉国家と世論2（生活保護バッシング）
第12回：大阪の地方政治と世論1（住民投票以前）
第13回：大阪の地方政治と世論2（2回の住民投票とその後）
第14回：全体総括
第15回：フィードバック

受講生の理解度や進捗に応じて、毎回のテーマは変更となる可能性がある。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

【評価方法】
平常点評価（毎回の小テストの合計100点満点）とする。

【評価方針】
到達目標について、国際高等教育院の成績評価の方針に従って評価する。

社会学各論Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

社会学各論Ⅰ(2)

[教科書]

毎回、授業資料を配付する。

[参考書等]

（参考書）

太郎丸博編 『後期近代と価値意識の変容：日本人の意識1973-2008』（東京大学出版会、2016年）ISBN:9784130501897

田辺俊介編 『日本人は右傾化したのか：データ分析で実像を読み解く』（勁草書房、2019年）ISBN:9784326351794

加藤秀治郎・岩渕美克編 『政治社会学〔第5版〕』（一藝社、2013年）ISBN:9784863590502

[授業外学修（予習・復習）等]

授業資料や参考書（授業中に追加で紹介するものも含む）を十分に活用して予習・復習を行い理解を深めること。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]